

令和5年3月17日

一般財団法人建設業振興基金
建設キャリアアップシステム事業本部

「CCUS応援自販機」増加 技能者の笑顔広がる

2月末で9都府県12現場に設置 鴻池組、東急建設、フジタが導入

一般財団法人建設業振興基金（東京都港区 理事長 谷脇暁「以下『建設業振興基金』という。」）は、建設キャリアアップシステム（以下「CCUS という」）運営主体として CCUS 登録技能者のメリットを身近に感じられるようメリット創出に取り組んでいる。

CCUS カードで自動販売機にタッチすると技能者に飲料が無償で提供される『CCUS 応援自販機』は、昨年9月に1号機が鴻池組に設置されてから、徐々に増え、技能者から喜びの声が届いている。

2023年2月末時点で12現場に設置されている。地域は、茨城、千葉、東京、神奈川、三重、大阪、兵庫、愛知、宮崎など9都府県。(株)鴻池組、東急建設(株)、(株)フジタの3社が導入している。

株式会社フジタ 手島雅浩所長（大阪府内 工場建築工事 写真1～4）は、「コミュニケーションが良くなっている。CCUS 応援自販機の導入によりタッチ率アップにつながっていることはもちろん、作業員の皆さんのコミュニケーションも活性化している。またCCUS は技能者のためという認識も芽生えている。利用が多くなる夏場には応援自販機はさらに意味を持つだろう」という。

東急建設株式会社 吉田博所長（神奈川県内 駅施設建築工事 写真5～8）は、「現場という枠に囚われず、会社や建設業界のために何かしたいと思っていた。現場入場する者はものづくりのチーム。飲料を手にとる喜びを見られると導入して良かったと実感する」

株式会社鴻池組 江口貴志所長（東京都内 官庁建築工事 写真9～13）は、「社内から紹介があり即応した。良い試み。タッチ率にも寄与しているし、飲料無料をきっかけにCCUSに登録するという話も聞いた。天候に影響を受けやすい建設業界だからこそ、少しでも働き方改革や労働環境の改善に貢献出来たら良いと思う」

CCUS 応援自販機設置現場では、新規入場教育の際に、カード保有の確認をする
とともに「自販機にタッチしてね」と応援自販機の利用を促している。新規入場時の不安が
和らぎ現場への親和性が高まっているという。

技能者は、「素直に嬉しいです。現場所長の気持ちが伝わり、詰所でも早く CCUS 技
能者登録した方がよいよ、という話になっています」との声も聞かれる。

CCUS は、現場の就業履歴蓄積数がキャリアアップ評価に結び付くには一定の期間
を要することから身近な存在となりにくい面があるが、飲料が無料となるという日々実感でき
るリターンがあることはモチベーションの継続に繋がり、タッチの習慣化が生まれる。CCUS
の持続的な普及促進に役立ち現場に喜びをもたらしている CCUS 応援自販機の増加
には大きな意味があると考えられる。引き続き、応援自販機の周知を行い、設置現場の増
加を図っていきたい。

CCUS 応援自販機はサントリービバレッジソリューションが開発した。設置条件は、工
期 1 年半。サントリーの商品以外も扱えるコンビ機の設置の可能となっている。

※このサントリーによる CCUS 応援自販機は、工場や物流施設などの従事者に
福利厚生などのために企業負担で飲料を提供するサントリーの独自システムです。
無料で提供する本数、期間、曜日などを設定した自動販売機を設置するだけなので、
現場の管理手間が掛かりません。

また個人情報を得ない形式で CCUS カードを読み取り、技能者を識別し提供した
本数や飲料の種類の把握が可能です。

問い合わせ先

(一財) 建設業振興基金 建設キャリアアップシステム事業本部 塩崎

住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-2-12 虎ノ門 4 丁目 MT ビル 2 号館

電話：03-5473-4586 FAX：03-5473-4587

Mail：h_shiozaki@kensetsu-kikin.or.jp

- CCUS応援自販機とは、登録技能者がCCUSカードを自動販売機にタッチすると、飲料を無料で提供する仕組み。
- 2022年9月初旬に第1号機が(株)鴻池組の建設現場に設置されて以降CCUS応援自販機への問い合わせ多数。
- 2023年2月末現在、設置台数は12台。**鴻池組、東急建設、フジタの各現場に設置済み。**
- 今後の設置予定(申込有)と検討中は4社24件となっている。
- さらなる現場への展開に向け、自販機会社が現場設置条件の緩和を検討中。

設置目的

- 元請事業者が飲料を無料で提供することによるCCUS登録・カードタッチへのインセンティブ付与。
- カードタッチの習慣化によるタッチ率の向上(タッチ漏れの防止)、現場利用の促進。
- 現場の労働環境の改善など

CCUS応援自販機の概要

- 自動販売機に内蔵された認証基盤がCCUSカードを判別して、CCUS登録技能者に飲料を無料で提供。
- 1技能者IDあたり無料で提供する本数/週、期間等を設定するだけで、「CCUS応援自販機」を即現場で利用することが可能。

利用状況

CCUS応援自販機の設置状況(2022年9月～2023年2月末)

2022年度	設置済み	設置予定及び検討中	問合せ	備考
上期	2台		21社	鴻池組2台
下期	10台	24台	12社	鴻池組3台,東急建設4台,フジタ3台(設置済、確定分含)
合計	12台	24台	29社	↑設置会社

利用者の声

業界として重要な意義があると思い設置。毎日無料提供している。(現場所長の声)

カードの重要性を理解し、常に携帯するようになった(技能者の声)

現場の一体感が増した気がする

一人親方も外国人も入場者みんなが受け取れるので、良い
(ダイバーシティに適應)

※4月、長谷エコーポレーションの11現場に設置予定

(株)フジタ大阪府内工場建設工事



東急建設(株)神奈川県内建設工事



(株)鴻池組 兵庫県、大阪府、東京都 建築工事



◆所長、現場担当者の声

- ・設置後の現場のCCUSカードタッチ率は高い。
- ・会社と業界のために何でもさせてもらおうと思った。試みとして面白いし良いことだと思う。
- ・自販機を設置することで、CCUSカードの話も増えている。
- ・若い社員に「CCUSってなんですか？」と聞いてくる人がいた(職員にも教育が必要であると分かった)
- ・1本無料になるだけでも素直に感謝してもらえている。
- ・新規入場教育を担当している若い社員が、CCUSカードを持っていたら自販機ドリンク無料ですよ。と伝えられるのでCCUSの話がしやすくなったと言っていた。
- ・夏場はさらに効果を発揮すると思う。

◆職長、職人の声

- ・当社(協力会社)は、新入社員に必ずカードを取得させているが初めて目に見える恩恵があった。
- ・この現場に来るときは、CCUSカードを携帯するしカードタッチするようにしている。
- ・タッチしたか、顔認証したか、という声掛けはいつの間にかおざなりになるが、自販機の飲み物無料は、「貰ったか？」というのは気軽に声掛けしやすく、コミュニケーションツールになる。
- ・朝礼会場と詰所の間に自販機とカードリーダーがあるので忘れなくなった。
- ・この自販機を設置している現場所長は凄い人だと思う(日本に数台しかないと聞いているので)

◆本社担当者の声

- ・自販機を目にしてどうしたらCCUS登録できるのか、と聞いてくる人がいたと聞く(未取得者も気になっている様子)
- ・登録キャンペーンに補助金を出すより、自販機設置の方が本来の取り組むべきものかもしれない。
- ・ゼネコンと協力会社はものづくりの仲間。お客様だけでなく職人に何かを提供する仕組みは良い。
- ・協力会社に取得するように伝えてもすぐには動いてくれなかったが自販機設置は前向に受け止められる。
- ・各職人さんにはCCUSカードを持つ理由が伝わっていないが、自販機設置で技能者のためのCCUSだと理解した。
- ・即物的であっても目に見えるリターンはモチベーションアップにつながるしCCUS普及に役立つと考える。
- ・CCUSというシステムの枠を超えて業界として良い試みである。
- ・工期1年半以上、月間売上1000本程度、販売手数料無しが設置条件であり設置現場が限られるのが今後の課題

- ・CCUS登録技能者へ元請が独自にメリットを提供するとともに、未登録技能者のCCUSカード取得促進を図る。
- ・CCUSカードタッチにより、飲料を無料で提供する「CCUS応援自販機」を企画。
- ・無料支給の飲料費は元請負担。週当たりの無料本数、対応期間などを設定した自販機を現場に設置するだけで良い。
- ・(一財)建設業振興基金は、現場での自販機活用を「CCUS応援自販機」と名づけ、自販機会社、建設会社の展開を期待。

CCUS応援自販機について

①就業履歴蓄積の習慣づけ CCUSカード所有意識の向上

自販機設置現場のタッチ率は高くなっている(社内比)



②手軽な技能者への直接メリットの提供

現場入場の技能者に平等に配布できる

1ID当たり週に何本無料とするかを設定した自販機を現場に置くだけ

設置効果

- ➡現場のコミュニケーションが良くなった
- CCUSが話題になっている
- CCUSカード保有者はタッチするようになった
- 技能者の為のCCUSであるという理解が進んだ



設置例



1本
無料



普及促進への新しい展開と現場の新しい価値の創造を期待している

自動販売機の取り扱いはサントリービバレッジソリューション(株)
サントリーの独自システムを活用しCCUSカードを自販機が判別し飲料を提供
設置条件は、工期1.5年以上、月平均1000本程度の売り上げが見込める現場
コンビ機(他の飲料メーカーの商品の取り扱いも可能)
問合せ先：建設業振興基金 CCUS事業本部 普及促進部

元請独自にCSRを意識したCCUS応援自販機の活用

ESG

現場環境の心理的な改善(福利厚生)

- ・所長から技能者へ、顔が見える人からの提供(心配り・慰労)
- ・熱中症対策
- ・協力会社に向けた効果(感謝・絆)

CR活動

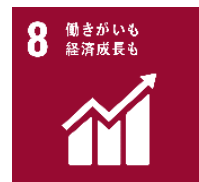
- ・異業種と建設業界の共有価値の創造
- ・現場自動販売機の活用を「CCUS応援自販機」と名付けて広く展開

SDGs

・CCUSの取組

建設業は地域の守り手

・CCUS応援自販機の設置



ダイバーシティ(CCUS登録技能者に平等に提供される)
・外国人、一人親方、2次以下協力会社、老若男女、スポット
多様な働き方がある現場で同一基準で平等に提供できる

CCUS登録技能者へのメリット等の提供

●CCUSが目指していること

★長期的ビジョン

- ・技能者の能力・経験年数に応じた適正な処遇改善につなげること
- ・若手技能者が将来的な人生設計を立てられる業界環境をつくること
- ・技能者を雇用し育成する専門工事会社が伸びる建設業界を目指すこと

●CCUS登録技能者への直接的なメリットの提供が広がり始めている

★元請独自の取組

カードのレベルアップ等によるもの

- ・CCUSの能力評価等を反映した手当支給(処遇改善)

就業履歴蓄積(カードタッチ)等によるもの

- ・現場イベント参加によるQUOカードなどの賞品提供(イベント参加型)

➡ CCUS応援自販機による現場での飲料無償支給(現場環境改善型、技能者慰労型)

●CCUS応援団(民間事業者との連携)

★登録技能者数が増えることによる社会的認知度が高まり、特典提供に繋がっている

- ・資格取得、物販、ECサイト、クレジットカード取得、飲食店など

★継続的な取り組みの必要性が高まっている